

2024年5月17日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社グローバル・リンク・マネジメントと「人的資本経営評価型ローン」を実行

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 当行）は、お客さまの人的資本経営の取り組みを評価する融資商品である「人的資本経営評価型ローン（以下 本商品）」の取り扱いを行っております。

本商品の人的資本経営評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下 MUFG）の一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下 MURC）をサービス提供者、サステナブルファイナンスの評価を行う株式会社日本格付研究所（以下 JCR）をサポート企業としております。MURCが人的資本経営に関する独自のチェック項目に基づき、お客さまの人的資本経営に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCRとの連携で客観的な評価を実施し、課題などもお客さまにフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、株式会社三菱UFJ銀行は株式会社グローバル・リンク・マネジメント（代表取締役社長 金大仲、以下 グローバル・リンク・マネジメント）は、本商品にてローンを実行いたしました。

グローバル・リンク・マネジメントはMUFGの人的資本経営評価において、「進んでいる人的資本経営評価」である「B+」ランクを取得しました。

グローバル・リンク・マネジメントは、2022年に中長期的な成長を続けるための長期構想として「GLM VISION 2030」を策定・公表しており「不動産×環境×DXにより、サステナブルな不動産開発・運用 No.1」を掲げ、サステナビリティを経営のベースに置いています。また、2023年には、その推進を強化すべく「サステナビリティ方針」を策定し、「GLM VISION 2030」の達成に向けた重点課題として「人的資本経営の推進」を含めた9つのマテリアリティを定めています。

【高く評価を受けた人的資本経営に関する取り組み】

<ビジョンと方針>

- ✓ 経営メンバーによるワークショップによる議論の上、企業理念（Mission、Value、行動規範等）を踏まえた「求める人材像」を定義し、招集通知、有価証券報告書等で開示している点。

<パフォーマンスとキャリア開発に関するレビュー>

- ✓ 全社員を対象とした定期面談を年2回実施している。定期面談の実施有無は面談後に人事部門に提出するFBシートを証跡としており、全社員の実施を確認している点。

<パフォーマンスとキャリア開発に関するレビュー>

- ✓ 全社員を対象とした定期面談を年 2 回実施している。定期面談の実施有無は面談後に人事部門に提出する FB シートを証拠としており、全社員の実施を確認している点。

<従業員エンゲージメント>

- ✓ 企業理念の浸透を重要視しており、従業員満足度調査の結果も踏まえて理念浸透のための施策を様々実施している点。例として、年次の社員総会で企業理念の浸透度に関するクイズを実施した他、社内向け YouTube「GLM ビジョン」のなかで企業理念の説明や思いを配信するなど、経営トップが理念や自社が向かう方向性の社内浸透のためにリーダーシップを発揮している。

<差別事例の件数・対応措置>

- ✓ 社内・社外共に設置している内部通報窓口及び「ハラスメント調査」「働き方に関する調査」をそれぞれ年 2 回実施し、差別事例を把握している点。通報・報告があった場合は、内部通報規程に基づき関係者に報告の上、適正な対応を行い、内容によっては懲罰委員会を開催し、再発防止策を提出させるなどは正措置を実施している。

<コンプライアンスに関する方針・体制>

- ✓ ホームページ等にて、規程として定めた「コンプライアンス管理規程」「内部通報規程」に則り、必要な体制（コンプライアンス統括部門の設置、全部署にコンプライアンスに関する責任者の配置、「リスク対策・コンプライアンス委員会」の開催）を構築している旨の開示をしている点。

MUFG は、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの人的資本経営の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上